



# JRC 2024

- JRS** 第83回 日本医学放射線学会総会
- JSRT** 第80回 日本放射線技術学会総会学術大会
- JSMP** 第127回 日本医学物理学会学術大会
- ITEM** 2024国際医用画像総合展



2024年4月11日(木)～14日(日)、放射線医学・診療における国内最大規模の学術集会であるJRC 2024が開催された。「変革の時代を先導する：Leading an Era of Transformation」をテーマに、第83回日本医学放射線学会(JRS)総会、第80回日本放射線技術学会(JSRT)総会学術大会、第127回日本医学物理学会(JSMP)学術大会の3つの学術集会と、展示会の2024国際医用画像総合展(ITEM in JRC 2024)が行われた。会場となったパシフィコ横浜(神奈川県横浜市)は期間中、多くの参加者で活気に満ちており、放射線医学・診療にかかわる人々がアフターコロナの変革の時代を牽引していくことを予感させた4日間であった。



## 変革の時代を先導する放射線医学・診療

JRC 2024のテーマにあるとおり、日本の医療界はまさに「変革の時代」の真っ只中にある。日本社会を混乱に陥れた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2023年5月に第5類感染症へと移行したものの、新興感染症に対してぜい弱な医療体制を露呈させ、今後課題を残した。さらに、急速に超少子高齢社会が進んでいる中で、生産年齢人口の減少と高齢者の増加により、医療資源の逼迫、医療費をはじめとした社会保障費の増大も問題となっている。このような状況の中で、2024年は、医師の働き方改革、第8次医療計画、医療・介護・障害福祉サービスのトリプル改定が行われ、日本の医療界にとって大きな動きのある年となる。一方で、テクノロジーの進歩も医療に変革をもたらそうとしている。人工知能（AI）が広く社会に浸透し、2023年には米国OpenAI社の大規模言語モデル「GPT」をベースにしたチャットボット「ChatGPT」といった生成AIが社会現象を巻き起こした。生成AIなどのAIは医療の世界にもインパクトを与えており、臨床応用が進んでいる。

特に、放射線医学・診療は、早期からAIの実用化が進んでおり、すでにAIを用いて開発された画像診断装置やAIを搭載したプログラム医療機器が多数上市され、臨床の場で利用されている。このように新しいテクノロジーをいち早く取り入れてきたのはAIに限ったことではない。CTやMRIといった画像診断装置だけではなく、PACSによるフィルムレス化など、放射線医学・診療は、先んじてテクノロジーを取り入れることで発展してきた。そして、テクノロジーを活用することで、例えば遠隔画像診断のように、「働き方改革」という言葉が生まれる以前から新しい業務環境を創出してきた。

このような放射線医学・診療の先進性・柔軟性は、変革の時代に対応するためには重要である。テクノロジーを自分たちのものにして、日本の医療が抱える課題を解決していく。今回のテーマからは、その意気込みが伝わってくる。



JRC 2024のテーマをイメージしたポスター

## 積極的に技術革新を受け入れることがさらなる発展には重要

4月12日（金）13時15分から国立大ホールで開かれた合同開会式の中で挨拶した一般社団法人日本ラジオロジー協会（JRC）の富山憲幸代表理事（大阪大学）は、今回のテーマについて触れた。富山代表理事は、放射線医学・診療は進歩のスピードが速く、しかも年々加速していると説明した上で、診断・治療機器の進歩は技術革新に支えられており、ITEMの会場を見れば実感できると述べた。そして、技術革新を先導しているのは、新たな技術に柔軟に対応してきた放射線医学・診療の関係者だとして、変革の時代を先導していくのも、これらの人々であることを強調した。

富山JRC代表理事はこのほかに、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエル・パレスチナ紛争といった国際情勢について触れ、世界が不安定な中でも開催できることは幸せなことであり、JRC 2024がこれからの放射線医学・診療の発展、ひいては世界中の人々の幸福に貢献することを願っていると述べた。

この合同開会式では、プロジェクションマッピングと和楽器（三味線：匹田大智氏、和太鼓：金刺由大氏）の演奏に合わせて、書家の美帆氏が大会テーマ「変革の時代を先導する：Leading an Era of Transformation」を揮毫するというユニークなオープニングアクトが行われ、コロナ禍の自粛ムードを一掃して、変革の時代に進んでいくJRCの意気を感じさせた。富山代表理事の挨拶の後には、第83回JRS総会の陣崎雅弘会長（慶應義塾大学）、第80回JSRT総会学術大会の根岸 徹大会長（東京都立大学）、第127回JSMP学術大会の石川正純大会長（北海道大学）、ITEM 2024を運営する一般社団法人日本画像医療システム工業会（JIRA）の山本章



4団体の会長・大会長の挨拶、基調講演が行われた合同開会式



富山憲幸  
JRC代表理事



陣崎雅弘  
第83回JRS総会会長



根岸 徹  
第80回JSRT総会  
学術大会大会長



石川正純  
第127回JSMP学術大会  
大会長



山本章雄  
JIRA会長